DIALOG(R)File 352:Derwent WPI (c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv. 011800624 **Image available** WPI Acc No: 1998-217534/199819 XRPX Acc No: N98-171959 Matrix type display device production method - using optical materials in liquid form selectively applied to desired positions and utilising scanning lines, signal lines, common feed line, etc.

Patent Assignee: SEIKO EPSON CORP (SHIH)

Inventor: KIGUCHI H; KIMURA M

Number of Countries: 022 Number of Patents: 014

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date W	/eek	
WO 9812689	A						_
EP 862156	A1	19980902		A	19970918		В
			WO 97JP3297	A.	19970918	199839	
JP 10506813	х	19990209		A.	19970918	10001	
			JP 98506813	A	19970918	199916	
CN 1205096	A	19990113		A			
KR 99067364	A	19990816			19970918	199921	
		1000010	KR 98703374		19970918	200045	
TW 438992	Α.	2001060		Α.	19980507		
US 2002007542		2002062		Α.	19970919	200175	
	- 71	2002002	US 9877029		19970918	200244	
				Α	19980518		
JP 2003178873	Α .	2002050#	US 2001901095		20010710		
DI 2003178873	^	20030627	JP 98506813			00351	
JP 2003178874			JP 2002330872		19970918		
31 20031/08/4	A :	20030627	JP 98506813			00351	
ID 200200 44 04	·		JP 2002330874	A 1	9970918		
JP 2003234195	A 2	20030822	JP 98506813	A 1	9970918 20	00364	
			JP 2002330873	A 1	9970918		
JP 2003241676	A 2	20030829	JP 98506813	A 1	9970918 20	0366	
			JP 2002330875	A 1	9970918		
EP 1367431	A2 2	20031203	EP 97940411	A 1	19970918 2	00380	
			EP 200377468	A 1	9970918		
EP 1365276	A2 2	20031126	EP 97940411	A 1	9970918 2	00380	
			EP 200377361		9970918		
EP 1365443	A2 2	0031126	EP 97940411			00380	
			EP 200377362		0070010	,0300	

Priority Applications (No Type Date): JP 96248087 A 19960919

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes WO 9812689 A1 J 372 G09F-009/30

Designated States (National): CN JP KR US

Designated States (Regional): AT BE CH DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC NL PT SE

Based on patent WO 9812689

EP 862156 Designated States (Regional): DE GB NL

JP 10506813 Based on patent WO 9812689 KR 99067364 A G09F-009/30 Based on patent WO 9812689 A G02F-001/13 Div ex application WO 97JP3297

JP 2003178873 A 18 H05B-033/10 Div ex application US 9877029

JP 2003178874 A 18 H05B-033/10 Div ex application JP 98506813

P 2003178874 A	18 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 20031234195 A	19 H05B-033/12	Div ex application JP 98506813
P 2003234195 A	19 H05B-033/12	Div ex application JP 98506813
P 2003241676 A	19 G09F-009/00	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	18 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	18 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	18 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	19 H05B-033/10	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	P 20031788	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	P 20031788	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	Div ex application JP 98506813	
P 2003178874 A	Div ex application JP 98506813	Div ex application JP 98506813
P 2003178874 A	Div ex application JP 98506813	Div ex app

Div ex patent EP 862156
Designated States (Regional): DE GB NL

EP 1365276 A2 E G02F-001/1341 Div ex application EP 97940411
Div ex patent EP 862156

Designated States (Regional): DE GB NL EP 1365443 A2 F H011 021/00

1365443 A2 E H01L-021/00 Div ex application EP 97940411
Div ex patent EP 862156

Designated States (Regional): DE GB NL

Abstract (Basic): WO 9812689 A

The method involves using a display substrate and utilising a first bus wiring in the case of a passive matrix type display device. Scanning lines, signal lines, common feed line, pixel electrodes, inter-layer insulating films, light shading layers, etc., are utilised in the case of an active matrix type display device. Optical materials in liquid form are selectively applied to desired positions by utilising there features.

ADVANTAGE - Improved patterning accuracy. Method provides high throughput and high freedom of optical materials. Device has steps, desired distribution of liquid repellency and lyophilicity, desired potential distribution.

Dwg.3/13

Title Terms: MATRIX; TYPE; DISPLAY; DEVICE; PRODUCE; METHOD; OPTICAL; MATERIAL; LIQUID; FORM; SELECT; APPLY; POSITION; UTILISE; SCAN; LINE; SIGNAL; LINE; COMMON; FEED; LINE

Derwent Class: P75; P81; P85; U14; W05

International Patent Class (Main): G02F-001/13; G02F-001/1341; G02F-001/136 ; G02F-001/1368; G09F-009/00; G09F-009/30; H01L-021/00; H05B-033/10; H05B-033/22

International Patent Class (Additional): B41J-002/01; G02F-001/1333; G02F-001/1335; G02F-001/13357; H01L-027/00; H01L-051/40; H05B-033/12; H05B-033/14; H05B-033/12; H05B-033/12; H05B-031/12; H05B-031/

PCT

世界型的所有権機関係 第 第 局 特許協力条約に基づいて公開された国際出願



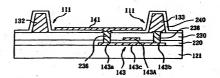
(51) 国際特许分類6 G09F 9/30, 9/00	^1	(11) 国際公開番号 (43) 国際公開日	1998年	WO98/1268 3月26日(26.03.98
(21) 国際出願番号 PCT///P9 (22) 国際出願日 1997年9月18日(1 (38) 優先権データ		DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE.	R, US, 欧州特許(, IT, LU, MC, NL,)	AT, BE, CH, DE, PT, SE).
特額平2748087 1996年9月19日(19.09.96) (71) 出願人 (米Bを除くすべての指定国について) セイコーエアンン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)[JP:PP] 「16) 東京都市区国际版 17日4番号 Tokyo, (JP) (73) 発列者: および 「3) 発列者が出版人 (米国についてのみ)	JP	***************************************		
米村 歌(KINURA、Musham)[777] 米村 歌(KINURA、Musham)[777] オの西東(KIOULH, Himan)[777] オの西東(KIOULH, Himan) オの西東(KIOULH, Himan) オップランでは、大きない。 オース・アンでは、 オース・アンでは、				

(54) Title: MATRIX TYPE DISPLAY DEVICE AND METHOD OF PRODUCTION THEREOF

(54)発明の名称 マトリクス型表示素子及びその製造方法

(57) Abstrac

Patterning accuracy is improved in marrix type display device and a production enthod thereof white keeping the features of a low cost, a high throughput and high freedom of opical materials. Steps, desired distribution of liquid regelency and typolhicity, desired of liquid regelency and typolhicity, desired of liquid regelency and typolhicity, desired display arbitrate by utilizing a first but wiring in the case of a passible matrix type display arbitrate by utilizing scanning lines, signal lines, common feed line, placel electrodes, inter-layer insulating films, light shading layers, etc., in the case of an active matrix type display of the case of an active matrix type form are selectively applied to desired positions by utilizing there features.



(57) 要約

マトリクス型表示素子及びその製造方法において、低コスト、高スループット及び光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、パターニングの精度を向上させることを目的とする。

そして、この目的を達成するために、表示基板上に、段差や、所望の 撥液性・ 親液性の分布や、所望の電位分布等を、パッシブマトリクス型 表示素子であれば第1のパス配線を利用し、或いは、アクティブマトリ クス型表示素子であれば走査線、信号線、共通給電線、画素電極、層間 絶線膜、進光層等を利用して形成し、そして、それらを利用して、液伏 の光学材料を所定位置に選択的に途布する。

明細管

マトリクス型表示素子及びその製造方法

o

10

技術分野

本発明は、マトリクス型表示素子及びその製造方法に関し、特に、表示基板上の所定位置に選択的に蛍光材料(発光材料)や光変調材料等の 光学材料を配置した構成を有し、光学材料は少なくとも遠布される際に は液状であるマトリクス型表示素子及びその製造方法において、光学材料を所定位置に正確に配置できるようにしたものである。

背景技術

LCD (Liquid Crystal Display) やEL (Electroluminescense) 表示素子等のマトリクス型表示素子は、軽量、薄型、高画質および高精細を実現する表示素子として、多種かつ多数用いられている。マトリクス型表示素子は、マトリクス状のバス配線と、光学材料(発光材料または光変調材料)と、必要に応じて他の構造とにより構成される。

ここで、単色のマトリクス型表示素子であれば、配線や電極は表示基 の 板上にマトリクス状に配置する必要はあるが、光学材料は、表示基板全 面に一様に徐布することも可能である。

これに対し、例えば自己が発光するタイプであるEL表示素子でいわゆるカラーのマトリクス型表示素子を実現しようとする場合、一画素毎に、RGBという光の三原色に対応して三つの画素電極を配置するとともに、各画素電極毎にRGBいずれかに対応した光学材料を塗布しなければならない。つまり、光学材料を所定の位置に選択的に配置する必要

かある。

そこで、光学材料をパターニングする方法の開発が望まれるのであるが、 有効なパターニング方法の候補としては、 エッチングと盤布とが挙 げられる。

5 エッチングによる場合の工程は、次のようになる。

先ず、表示基板上の全面に、光学材料の層を形成する。次に、光学材料の層の上にレジスト膜を形成し、そのレジスト膜をマスクを介して露光した後にパターニングする。そして、エッチングを行い、レジストのパターンに応じて、光学材料の層のパターニングを行う。

- 10 しかしながら、この場合は、工程数が多く、各材料、装置が高価であることにより、コストが高くなる。また、工程数が多く、各工程が複雑であることにより、スループットも悪い。さらに、光学材料の化学的性質によっては、レジストやエッチング液に対する耐性が低く、これらの工程が不可能な場合もある。
- 15 一方、途布による場合の工程は、次のようになる。

先ず、光学材料を溶媒に溶かして液状にし、この液状の光学材料を、 表示基板上の所定位置に、インクジェット方式等により選択的に塗布す る。そして、必要に応じて、加熱や光照射等により、光学材料を固形化 する。この場合は、工程数が少なく、各材料、装置が安価であることに

20 より、コストが安くなる。また、工程数が少なく、各工程が簡略であることにより、スループットも良い。さらに、光学材料の化学的性質に関係なく、液状化ができれば、これらの工程が可能である。

上記のような塗布によるパターニングの方法は、一見容易に実行可能 なようにも思える。しかし、本発明者等が実験等を行ってみたところ、

25 インクジェット方式により光学材料を塗布する際には、その光学材料を 溶媒により数十倍以上希釈しなければならないため、その流動性が高く、

15

20

25

塗布した後にそれの固形化が完了するまで塗布位置に保持しておくこと が困難であることが判った。

つまり、液状の光学材料の流動性に起因して、パターニングの精度が 悪いことである。例えば、ある画素に途布した光学材料が、隣接する画 素に流出することにより、画素の光学特性が劣化する。また、各画素毎 に、途布面積にパラツキが生じることにより、遂布厚さにパラツキが生 じ、光学材料の光学特性にパラツキが生じる。

かかる問題点は、途布する際には液状で、後に固形化されるEL表示 素子用の発光材料等で顕著であるが、途布した際及びその後も液状であ る液晶を、表示基板上に選択的に途布する場合にも同様に生じる問題点 である。

本発明は、このような従来の技術が有する未解決の課題に着目してなされたものであって、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由 度が高いこと等の特徴を維持しつつ、液状の光学材料を所定位置に確実 に配置することができるマトリクス型表示素子及びその製造方法を提供 することを目的としている。

発明の開示

上記目的を達成するために、請求の範囲第1項に保る発明は、表示基 板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材 料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリクス 型表示案子において、前記所定位置とその周囲との境界部分に、前記光 学材料を選択的に塗布するための段差を有するものである。

この請求の範囲第1項に係る発明によれば、上記のような段差を有しているため、塗布する際に光学材料が液状であっても、それを所定位置に選択的に配置することができる。つまり、この請求の範囲第1項に係

るマトリクス型表示素子は、光学材料が所定位置に正確に配置された高 性能のマトリクス型表示素子である。

上記目的を達成するために、請求の範囲第2項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前配光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前配液状の光学材料を塗布するための段差を、前配表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、前配段差を利用して前記所定位置に前配液状の光学材料を塗布する工程と、を備えた。

10 この請求の範囲第2項に保る発明によれば、液状の光学材料を塗布する前に段差を形成するため、所定位置に塗布された液状の光学材料が周囲に広がることを、その段差により阻止することができる。この結果、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、パターニングの精度を向上させることが可能となる。

請求の範囲第3項に係る発明は、上記請求の範囲第2項に係る発明で あるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差は、前記所定 位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり、前記表示 基板の前記液状の光学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定位置 に前記液状の光学材料を塗布するようにした。

この請求の範囲第3項に係る発明によれば、表示基板の光学材料が塗布される面を上に向けると、段差によって形成される凹部も上向きとなる。そして、その凹部の内側に液状の光学材料が塗布されると、重力により凹部内に光学材料が溜まるようになり、塗布された液状の光学材料は、それが極端に大量でない限り重力や表面張力等によって凹部内に溜まっていることができるから、この状態で例えば乾燥させて光学材料を固形化しても問題はなく、高精度のパターニングが行える。

差替え用紙 (規則26)

Best Available Ccpy

15

20

25

20

これに対し、請求の範囲第4項に係る発明は、上記請求の範囲第2項 に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前起段差 は、前記所定位置の方がその周囲よりも高くなっている凸型の段差であ り、前記表示基板の前記液状の光学材料が塗布される面を下に向けて、

5 前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布するようにした。

この請求の範囲第4項に係る発明によれば、表示基板の光学材料が塗布される面を下に向けると、段差によって形成される凸部も下向きとなる。そして、その凸部に液状の光学材料が塗布されると、表面張力により凸部上に光学材料が集まるようになり、塗布された液状の光学材料は、それが極端に大量でない限り表面張力によって凸部上に溜まっていることができるから、この状態で例えば乾燥させて光学材料を固形化しても問題はなく、高精度のパターニングが行える。

上記目的を達成するために、請求の範囲第5項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材料は少なくとも前記所定位置に詮布される際には液状であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、前記第1のバス配線と交差する複数の第2のバス配線を、前記光学材料を変うように形成する工程と、を備えた。

この請求の範囲第5項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリ クス型表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第2項に係る発明 と同様の作用効果を奏することができる。

25 上記目的を達成するために、請求の範囲第6項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材

25

料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリクス 型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバス 配線を形成する工程と、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、 前記表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程 と、前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する 工程と、剝離用基板上に、剁離層を介して復数の第2のバス配線を形成 する工程と、前紀光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板 上の前記剝離層から剝離された構造を、前記第1のバス配線と前記第2 のバス配線とが交差するように転写する工程と、を備えた。

10 この請求の範囲第6項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリ クス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第2項に係る発明と 同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置された 後に、その上面に第2のバス配線用の層を形成しこれをエッチングする ような工程は行われない分、光学材料等の下地材料へのその後の工程に よるダメージを軽減することが可能となる。

15

上記目的を達成するために、請求の範囲第7項に係る発明は、表示基 **板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材** 料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状であるマトリクス 型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の走査線及び 信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画素電極と、前記配線の 状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、 を形成する工程と、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記 表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、 前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程 と、を備えた。

この請求の範囲第7項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマト

- 10

15

20 .

25

リクス型表示索子の製造方法において、上記請求の範囲第2項に係る発明と同様の作用効果を奏することができる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第8項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、制離用基板上に、剝離層を介して、複数の走査線及の信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、前記光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝離層から剝離された構造を転写する工程と、を備えた。

この請求の範囲第 8 項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第 2 項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置された後に、その上面に配線用の層や画素電極用の層を形成しこれらをエッチングするような工程は行われない分、光学材料等の下地材料へのその後の工程によるダメージや、走査線、信号線、画素電極またはスイッチング素子等への、光学材料の塗布等によるダメージを、軽減することが可能となる。

請求の範囲第9項に係る発明は、上記請求の範囲第5又は6項に係る 発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差は、前 記第1のバス配線を利用して形成され、前記所定位置の方かその周囲よ りも低くなっている凹型の段差であり、前記液状の光学材料を途布する 工程では、前記表示基板の前記液状の光学材料が途布される面を上に向

20

25

PCT/JP97/03297

けて、前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布するようになっている。 この請求の範囲第9項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリ クス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第3項に係る発明と 同様の作用効果を奏することができるとともに、第1のバス配線を利用 して段差を形成する結果、第1のバス配線を形成する工程の一部又は全 部が、段差を形成する工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制

請求の範囲第10項に係る発明は、上記請求の範囲第7項に係る発明 であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差は、前記配 線を利用して形成され、前記所定位置の方がその周囲よりも低くなって いる凹型の段差であり、前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記 表示基板の前記液状の光学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定 位置に前記液状の光学材料を塗布するようになっている。

この請求の範囲第10項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第3項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、配線を利用して段差を形成する結果、配線を形成する工程の一部又は全部が、段差を形成する工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第 1 1 項に係る発明は、上記請求の範囲第 7 項に係る発明 であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差は、前記画 素電極を利用して形成され、前記所定位置の方がその周囲よりも高くな っている凸型の段差であり、前記液状の光学材料を逸布する工程では、 前記表示差板の前記液状の光学材料が逸布される面を下に向けて、前記 所定位置に前記液状の光学材料を途布するようになっている。

この請求の範囲第11項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第4項に係る発

10

15

20

明と同様の作用効果を奏することができるとともに、画素電極を利用して段差を形成する結果、画素電極を形成する工程の一部又は全部が、段 差を形成する工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第12項に係る発明は、上記請求の範囲第5~8項に係る 発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、層間絶縁膜を形 成する工程を備え、前記段差は、前記層間絶縁膜を利用して形成され、 前記所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり、 前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の光 学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定位置に前記液状の光学材 料を塗布するようになっている。

この請求の範囲第12項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリクス表示素子の製造方法並びにいわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第3項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、層間絶縁膜を利用して段差を形成する結果、層間絶縁膜を形成する工程の一部又は全部が、段差を形成す

る工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。 請求の範囲第1-3項に係る発明は、上記請求の範囲第5~8項に係る 発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、遮光層を形成する 工程を備え、前記段差は、前記遮光層を利用して形成され、前記所定 位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり、前記波状 の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記波状の光学材料が 塗布される面を上に向けて、前記所定位置に前記波状の光学材料を塗布 するようになっている。

この請求の範囲第13項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマト 25 リクス表示素子の製造方法並びにいわゆるアクティブマトリクス表示素 子の製造方法において、上記請求の範囲第3項に係る発明と同様の作用

10

20

25

効果を奏することができるとともに、遮光層を利用して段差を形成する 結果、遮光層を形成する工程の一部又は全部が、段差を形成する工程を 兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第14項に保る発明は、上記請求の範囲第2、3、5~8 項に保る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段 差を形成する工程は、液状の材料を途布した後にこれを選択的に除去す ることにより段差を形成するようになっている。液状の材料としてはレ ジスト等が適用でき、レジストを適用した場合には、表示基板全面にレ ジストをスピンコートして適当な厚さのレジスト膜を形成し、そのレジ スト膜を露光・エッチングして所定位置に対応して凹部を形成し、これ により段差を形成することができる。

この請求の範囲第 1 4 項に係る発明によれば、上記請求の範囲第 2 、 3 、5 ~ 8 項に係る発明の作用効果に加えて、段差を形成する工程の簡 略化が可能となると同時に、下地材料へのダメージを軽減しつつ、高低 差の大きい段差も容易に形成することが可能となる。

請求の範囲第15項に係る発明は、上記請求の範囲第2、3、5、7項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差を形成する工程は、剝離用基板上に剝離層を介して段差を形成し、その剝離用基板上の剝離層から剝離された構造を表示基板上に転写するようになっている。

この請求の範囲第15項に係る発明によれば、上記請求の範囲第2、 3、5、7項に係る発明の作用効果に加えて、剝離基板上に別途形成した段差を転写するようになっているから、段差を形成する工程の簡略化が可能となると同時に、下地材料へのダメージを軽減しつつ、高低差の大きい段差も容易に形成することが可能となる。

請求の範囲第16項に係る発明は、上記請求の範囲第2、3、5~1

15

20

PCT/JP97/03297

0、12~15項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差の高さd,は、下記(1)式を満たすようにした。

d. <d. (1)

ただし、d. は前記液状の光学材料の一回当たりの途布厚さである。 この請求の範囲第 1 6 項に係る発明によれば、液状の光学材料の表面 張力に頼らなくても、凹型の段差を越えて、所定位置の周囲に光学材料 が流出することを抑制することが可能となる。

請求の範囲第17項に係る発明は、上記請求の範囲第16項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、下記(2)式を満たすようにした。

 $V_{\bullet} / (d_b \cdot r) > E_{\bullet}$ (2)

ただし、V。は前記光学材料に印加される駆動電圧、d。は前記液状の光学材料の各途布厚さの和、rは前記液状の光学材料の濃度、E、は前記光学材料の濃度、E、は前記光学材料の光学特性変化が現れる最少の電界強度(しきい電界強度)である。

この請求の範囲第17項に係る発明によれば、上記請求の範囲第16項に保る発明の作用効果に加えて、塗布厚さと駆動電圧との関係が明確 化され、光学材料の電気光学効果が発現することが補償される。

請求の範囲第18項に係る発明は、上記請求の範囲第2、3、5~10、12~15項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記段差の高さd,は、下記(3)式を満たすようにした。

d, = d, (3)

ただし、d,は前記光学材料の完成時の厚さである。

この請求の範囲第18項に係る発明によれば、段差と完成時の光学材料との平坦性が確保され、光学材料の光学特性変化の一様性と、短絡の防止が可能となる。

請求の範囲第19項に係る発明は、上記請求の範囲第18項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記完成時の厚さd,は、下記(4)式を満たすようにした。

 $V_4/d_1 > E_1 \qquad \dots (4)$

- ただし、V。は前記光学材料に印加される駆動電圧、E. は前配光学 材料の光学特性変化が現れる最少の電界強度(しきい電界強度)である。 この請求の範囲第19項に係る発明によれば、上配請求の範囲第18 項に係る発明の作用効果に加えて、途布厚さと駆動電圧との関係が明確 化され、光学材料の電気光学効果が発現することが補償される。
- 10 上記目的を達成するために、請求の範囲第20項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前配光学 材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には波状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前配表示基板上の前配所定位置の親 液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、前記所定位置 15 に前記液状の光学材料を塗布する工程と、を備えた。
 - この請求の範囲第20項に保る発明によれば、液状の光学材料を塗布する前に所定位置の親液性を強くするようになっているため、所定位置に変布された液状の光学材料は、その周囲よりも所定位置に溜まり易くなっており、所定位置とその周囲との親液性の差を十分に大きくしておけば、所定位置に塗布された液状の光学材料はその周囲には広がらない。この結果、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、パターニングの精度を向上させることが可能となる。
- なお、表示差板上の所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対 25 的に強くする工程としては、所定位置の親液性を強くするか、所定位置 の周囲の撥液性を強くするか、若しくはその両方を行うことが考えられ

20

Best Available Copy

る。

上記目的を達成するために、請求の範囲第21項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバ ス配線を形成する工程と、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をそ の周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、前記所定位置に前記液 状の光学材料を塗布する工程と、前記第1のバス配線と交差する複数の 第2のバス配線を、前記光学材料を覆うように形成する工程と、を備え た。

この請求の範囲第21項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマト リクス型表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る 発明と同様の作用効果を奏することができる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第22項に係る発明は、表示 15 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバ ス配線を形成する工程と、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をそ の周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、前記所定位置に前記液 状の光学材料を塗布する工程と、剝離用基板上に、剝離層を介して複数 の第2のバス配線を形成する工程と、前記光学材料が塗布された表示基 板上に、前記剝離用基板上の前記剝離層から剝離された構造を、前記第 1 のバス配線と前記第2のバス配線とが交差するように転写する工程と、 を備えた。

この請求の範囲第22項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマト リクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発

15

20

Best Available Copy

明と同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置された後に、その上面に第2のバス配線用の暦を形成しこれをエッチング するような工程は行われない分、光学材料等の下地材料へのその後の工程によるダメージを軽減することが可能となる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第23項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の走査線及 び信号線を含む配線と、前配所定位置に対応した画素電極と、前配配線 の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子

と、を形成する工程と、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその 周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、前記所定位置に前記液状 の光学材料を塗布する工程と、を備えた。

この請求の範囲第23項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス型表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第24項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前配光学 材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状であるマトリク

ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上の前記所定位置の観 液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、前配所定位置 に前記液状の光学材料を途布する工程と、剝離用基板上に、剝離層を介 して、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前配所定位置に対応した 画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するた めのスイッチング素子と、を形成する工程と、前記光学材料が塗布され

25 めのスイッチング素子と、を形成する工程と、前記先学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝離層から剝離された構造を

転写する工程と、を備えた。

この請求の範囲第24項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置された後に、その上面に配練用の層や画素電極用の層を形成しこれらをエッチングするような工程は行われない分、光学材料等の下地材料へのその後の工程によるダメージや、走査線、信号線、画素電極またはスイッチング素子等への、光学材料の塗布等によるダメージを、経滅することが可能となる。

10 請求の範囲第25項に係る発明は、上記請求の範囲第21又は22項 に係る発明であるマトリクス型表示索子の製造方法において、前配表示 基板上の前記第1のバス配線に沿って撥液性の強い分布を形成すること により、前配表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よ りも相対的に強くするようになっている。

15 この請求の範囲第25項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、第1のバス配線に沿って親液性の強い分布を形成する結果、第1のバス配線を形成する工程の一部又は全部が、前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第26項に係る発明によれば、上記請求の範囲第23項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基 板上の前記配線に沿って撥液性の強い分布を形成することにより、前記 表示基板上の前記所定位置の穀液性をその周囲の穀液性よりも相対的に 強くするようになっている。

. 1

25

Best Available Copy

5

10

この請求の範囲第26項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、配線に沿って観波性の強い分布を形成する結果、配線を形成する工程の一部又は全部が、前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第27項に係る発明は、上記請求の範囲第23項に係る発 明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上の 前記画素電極表面の親液性を強くすることにより、前記表示基板上の前 記所定位産の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くするように なっている。

この請求の範囲第27項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、画素電極表面の 親液性を強くする結果、画素電極を形成する工程の一部又は全部が、前 記所定位置の親液性をその周囲の規液性よりも相対的に強くする工程を 兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第28項に係る発明は、上記請求の範囲第21~24項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、層間絶縁膜 を形成する工程を備え、前記表示基板上の前記層間絶縁膜に沿って撥液 性の強い分布を形成することにより、前記表示基板上の前記所定位置の 観液性をその周囲の製液性よりも相対的に強くするようになっている。

この請求の範囲第28項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリクス表示素子の製造方法並びにいわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、層間絶縁膜に沿って親液性の強

1 6

20

25

Best Available Copy

い分布を形成する結果、層間絶縁膜を形成する工程の一部又は全部が、 前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程 を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第29項に係る発明は、上記請求の範囲第23項に係る発 明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記画素電極の表 5 . 面は露出するように層間絶縁膜を形成する工程を備え、前記層間絶縁膜 を形成する際には、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記 画素電極の表面が露出する部分とその周囲との境界部分に形成し、前記 層間絶縁膜の表面の撥液性を強くすることにより、前記表示基板上の前 記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くするように なっている。

この請求の範囲第29項に係る発明によれば、液状の光学材料が途布 される前に、層間絶缘膜によって上記請求の範囲第3項に係る発明のよ うな凹型の段差が形成されるとともに、その層間絶縁膜の表面の撥液性 が強くなることにより所定位置の親液性がその周囲の親液性よりも相対 的に強くなっている。このため、上記請求の範囲第3項に係る発明の作 用と、上記請求の範囲第20項に係る発明の作用との両方が発揮される ことになるから、所定位置に塗布された液状の光学材料が周囲に広がる ことを、より確実に阻止することができる。この結果、低コスト、高ス ループットおよび光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、 パターニングの精度をさらに向上させることが可能となる。

請求の範囲第30項に係る発明は、上記請求の範囲第21~24項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、遮光層を形 成する工程を備え、前記表示基板上の前記遮光層に沿って撥液性の強い 分布を形成することにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性を その周囲の親液性よりも相対的に強くするようになっている。

20

25

PCT/JP97/03297

この請求の範囲第30項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリクス表示素子の製造方法並びにいわゆるアクティブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第20項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、遮光層に沿って親液性の強い分布を形成する結果、遮光層を形成する工程の一部又は全部が、前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程を兼ねるようになるから、工程の増加を抑制できる。

請求の範囲第31項に係る発明は、上記請求の範囲第20~30項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、紫外線を照射する若しくはO₂, CF₃, A₁等のプラズマを照射することにより、前記所定位置とその周囲との親液性の差を大きくするようになっている。

この請求の範囲第3 | 項に係る発明によれば、例えば層間絶縁膜表面 等の撥液性を容易に強くすることができる。

請求の範囲第32項に係る発明は、上記請求の範囲第2~19項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程を備えた。

また、請求の範囲第33項に係る発明は、上記請求の範囲第20~28、31項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前配表示基板上の前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程を備えた。

そして、これら請求の範囲第32又は33項に係る発明によれば、上 記請求の範囲第29項に係る発明と同様に、液状の光学材料が塗布され る前に、所定の段差が形成されるとともに、所定位置の親液性がその層 囲の親液性よりも相対的に強くなる。このため、上記請求の範囲第3項

1 8

. 10

20

に係る発明の作用と、上記請求の範囲第20項に係る発明の作用との両方が発揮されることになるから、所定位置に塗布された液状の光学材料が周囲に広がることを、より確実に阻止することができる。この結果、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、パターニングの精度をさらに向上させることが可能となる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第34項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、前記所定位置と その周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前記 電位分布を利用して前記液状の光学材料を前記所定位置に選択的に塗布 する工程と、を備えた。

この請求の範囲第34項に保る発明によれば、液状の光学材料を塗布する前に電位分布を形成するため、所定位置に塗布された液状の光学材料が周囲に広がることを、その電位分布により阻止することができる。
---の結果、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由度が高いこと等の特徴を維持しつつ、パターニングの精度を向上させることが可能となる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第35項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、前記所定位置と その周囲とか異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前記 液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する電位に 帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と、を備えた。

10

15

20

25

Best Available Copy

この請求の範囲第35項に係る発明によれば、途布された液状の光学 材料と所定位置の周囲との間に斥力が生じるから、所定位置に途布され た液状の光学材料が周囲に広がることを、阻止することができる。この 結果、低コスト、高スループットおよび光学材料の自由度が高いこと等 の特徴を維持しつつ、パターニングの精度を向上させることが可能とな る。

上記目的を達成するために、請求の範囲第36項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には被状であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と、前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前記液状の光学材料を、前紀所定位置の周囲との間で斥力が発生する電位に帯電させてから、前紀所定位置に塗布する工程と、前記第1のバス配線と交差する複数の第2のバス配線を、前記光学材料を覆うように形成する工程と、を備えた。

この請求の範囲第36項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマト リクス型表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第35項に係る 発明と同様の作用効果を奏することができる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第37項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、前記光学 材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の第1のバ ス配線を形成する工程と、前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲 とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前記液状の光 学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する電位に帯電させ

10

15

20

25

てから、前記所定位置に塗布する工程と、剝離用基板上に、剁離層を介 して複数の第2のバス配線を形成する工程と、前配光学材料が塗布され た表示基板上に、前配剁離用基板上の前配剁離層から剁離された構造を、 前配第1のバス配線と前記第2のバス配線とが交差するように転写する 工程と、を備えた。

この請求の範囲第37項に係る発明によれば、いわゆるパッシブマトリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第35項に係る発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置された後に、その上面に第2のパス配線用の層を形成しこれをエッチングするような工程は行われない分、光学材料等の下地材料へのその後の工程によるダメージを軽減することが可能となる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第38項に係る発明は、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した機成を有し、前記光学材料は少なくとも前記所定位置に逸布される際には液状であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する電位に帯電させてから、前記所定位置に逸布する工程と、を備えた。

この請求の範囲第38項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマトリクス型表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第35項に係る発明と同様の作用効果を奏することができる。

上記目的を達成するために、請求の範囲第39項に係る発明は、表示 基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を育し、前記光学

20

25

WO 98/12689

PCT/JP97/03297

材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状であるマトリク ス型表示素子の製造方法において、前記表示基板上に、前記所定位置と その周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、前配 液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する電位に 帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と、剝離用基板上に、剝 離層を介して、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定位置に 対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制 御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、前配光学材料が 塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝離層から剝離され た構造を転写する工程と、を備えた。

10

とが可能となる。

この請求の範囲第39項に係る発明によれば、いわゆるアクティブマ トリクス表示素子の製造方法において、上記請求の範囲第35項に保る 発明と同様の作用効果を奏することができるとともに、光学材料が配置 された後に、その上面に配線用の簡や画素電極用の層を形成しこれらを エッチングするような工程は行われない分、光学材料等の下地材料への その後の工程によるダメージや、走査線、信号線、画素電極またはスイ -ッチング素子等への、光学材料の塗布等によるダメージを、軽減するこ

請求の範囲第40項に係る発明は、上記請求の範囲第35~39項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記電位分 布は、少なくとも前記表示基板上の前記所定位置の周囲が帯電するよう に形成するようにした。

この請求の範囲第40項に係る発明によれば、液状の光学材料を帯電 させることにより確実に斥力を発生させることができるようになる。

請求の範囲第41項に係る発明は、上記請求の範囲第36又は37項 に係る発明であるマトリクス塑表示素子の製造方法において、前記電位

15

20

分布は、前記第1のバス配線に電圧を印加することにより形成するよう にした。

また、請求の範囲第42項に係る発明は、上記請求の範囲第38項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記電位分 布は、前記配線に電圧を印加することにより形成するようにした。

そして、請求の範囲第43項に係る発明は、上記請求の範囲第38項 に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記電位 分布は、前記画素電極に電圧を印加することにより形成するようにした。

さらに、請求の範囲第44項に係る発明は、上記請求の範囲第38項 に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記電位 分布は、前記走査線に順次電圧を印加し、同時に前記信号線に電位を印 加し、前記画素電極に前記スイッチング素子を介して電圧を印加するこ とにより形成するようにした。

また、請求の範囲第45項に係る発明は、上記請求の範囲第35~3 9項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、連光 層を形成する工程を備え、前記電位分布は、前記遮光層に電圧を印加す ることにより形成されるようにした。

これら請求の範囲第41~45項に係る発明によれば、マトリクス型 表示素子が備える構成を利用して電位分布を形成するため、工程の増加 が抑制できる。

請求の範囲第46項に係る発明は、上記請求の範囲第34~45項に 係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前記電位分 布は、前記所定位置とその周囲とが逆極性となるように形成するように した。

25 この請求の範囲第46項に係る発明によれば、液状の光学材料と所定位置との間には引力が発生し、液状の光学材料と所定位置の周囲との間

2 3

10

15

25

には斥力が発生するため、光学材料が所定位置により溜まり易くなり、 パターニングの精度がさらに向上する。

なお、上記請求の範囲第2~46項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法における前記光学材料としては、例えば請求の範囲第47項に係る発明のように、無機又は有機の蛍光材料(発光材料)を適用することができる。蛍光材料(発光材料)としては、EL(Electroluminescense)が好適である。波状の光学材料とするためには、適当な溶媒に溶かして溶液とすればよい。

また、上記請求の範囲第2、3、5~10、12~31、33~46 項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法における前記光学 材料としては、例えば請求の範囲第48項に係る発明のように、液晶を 適用することもできる。

請求の範囲第49項に係る発明は、上記請求の範囲第7、8、10、11、13、23、24、26、27、38、39、42~44項に係る発明であるマトリクス型表示素子の製造方法において、前配スイッチング素子は、非品質シリコン、600で以上の高温プロセスで形成された多結品シリコン又は600で以下の低温プロセスで形成された多結品シリコンにより形成するようにした。

この請求の範囲第49項に係る発明によっても、光学材料のバターニングの精度を向上させることが可能となる。特に低温プロセスで形成された多結晶シリコンを用いた場合には、ガラス基板の使用による低コスト化と、高移動度による高性能化が両立できる。 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の第1の実施の形態における表示装置の一部を示す 回路図である。第2図は、画素領域の平面構造を示す拡大平面図である。 第3~5図は、第1の実施の形態における製造工程の流れを示す断面図

25

である。第6図は、第1の実施の形態の変形例を示す断面図である。第7回は、第2の実施の形態を示す平面図及び断面図である。第8回は、第3の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第4の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第5の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第6の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第6の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第8の実施の形態の製造工程の一部を示す断面図である。第1回は、第8の実施の形態の変形例を示す断面図である。

10 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の好ましい実施の形態を、図面に基づいて説明する。

(1) 第1の実施の形態

第1図乃至第5図は、本発明の第1の実施の形態を示す図であって、この実施の形態は、本発明に保るマトリクス型表示素子及びその製造方 15 法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリクス型の表示装置に適用 したものである。より具体的には、配線としての走査線、信号線及び共 通給電線を利用して、光学材料としての発光材料の途布を行う例を示し ている。

第1図は、本実施の形態における表示装置1の一部を示す回路図であって、この表示装置1は、透明の表示基板上に、複数の走査線131と、これら走査線131に対して交差する方向に延びる複数の信号線132と、これら信号線132に並列に延びる複数の共通給電線133と、がそれぞれ配線された構成を有するとともに、走査線131及び信号線132の各交点毎に、画素領域素1Aが設けられている。

信号線132に対しては、シフトレジスタ、レベルシフタ、ビデオライン、アナログスイッチを備えるデータ側駆動回路3が設けられている。

Best Available Copy

また、走査線131に対しては、シフトレジスタおよびレベルシフタを備える走査側駆動回路4が設けられている。さらに、また、画素領域1 Aの各々には、走査線131を介して走査信号がゲート電極に供給されるスイッチング薄膜トランジスタ142と、このスイッチング薄膜トランジスタ142と、このスイッチング薄膜トランジスタ142と、このは会される画像信号を保持する保持容量capと、該保持容量capによって保持された画像信号がゲート電極に供給されるカレント薄膜トランジスタ143と、このカレント薄膜トランジスタ143を介して共通給電線133に電気的に接続したときに共通給電線133から駆動電流が流れ込む画素電極141と、この画素電極141と反射電極154との間に挟み込まれる発光素チ140と、が設けられている。

かかる構成であれば、走査線131が駆動されてスイッチング溶験トランジスタ142がオンとなると、その時の信号線132の電位が保持容量 capに保持され、該保持容量 capの状態に応じて、カレント薄膜トランジスタ143のオン・オフ状態が決まる。そして、カレント薄膜トランジスタ143のチャネルを介して、共通給電線133から画素電極141に電流が流れ、さらに発光素子140を通じて反射電極154に電流が流れるから、発光素子140は、これを流れる電流量に応じて発光する。

- 20 ここで、各画素領域 I A の平面構造は、反射電極や発光素子を取り除いた状態での拡大平面図である第2 図に示すように、平面形状が長方形の画素電極 I 4 1 の四辺が、信号線 I 3 2 、共通給電線 I 3 3 、走査線 I 3 1 及び図示しない他の画素電極用の走査線によって囲まれた配置となっている。
- 25 第3図〜第5図は、画素領域1Aの製造過程を順次示す断面図であって、第2図のA-A線断面に相当する。以下、第3図〜第5図に従って、

15

20

25

画素領域IAの製造工程を説明する。

先ず、第3図(a)に示すように、透明の表示基板 1 2 1 に対して、必要に応じて、TEOS(テトラエトキシシラン)や酸素ガスなどを原料ガスとしてプラズマCVD法により厚さが約2000~5000オングストロームのシリコン酸化膜からなる下地保護膜(図示せず。)を形成する。次いで、表示基板 1 2 1 の温度を約350℃に設定して、下地保護膜の表面にプラズマCVD法により厚さが約300~700オングストロームのアモルファスのシリコン膜からなる半導体膜200を形成する。次にアモルファスのシリコン膜からなる半導体膜200に対して、レーザアニールまたは固相成長法などの結晶化工程を行い、半導体膜200をポリシリコン膜に結晶化する。レーザアニール法では、例えば、エキシマレーザでビームの長寸が400mmのラインビームを用い、その出力強度はたとえば200mJ/cm*である。ラインビームについてはその短寸方向におけるレーザ強度のビーク値の90%に相当する部分が各領域毎に重なるようにラインビームを走金する。

次いで、第3図(b)に示すように、半導体膜200をパターニングして島状の半導体膜210とし、その表面に対して、TEOS(テトラエトキシシラン)や酸素ガスなどを原料ガスとしてプラズマCVD法により厚さが約600~1500オングストロームのシリコン酸化膜または窒化膜からなるゲート絶縁膜220を形成する。なお、半導体膜210は、カレント薄膜トランジスタ143のチャネル領域及びソース・ドレイン領域となるものであるが、異なる断面位置においてはスイッチング薄膜トランジスタ142のチャネル領域及びソース・ドレイン領域となる・等体膜も形成されている。つまり、第3図~第5図に示す製造とは一種類のトランジスタ142、143が同時に作られるのであるが、同じ手順で作られるため、以下の説明では、トランジスタに関して

25

は、カレント海膜トランジスタ143についてのみ説明し、スイッチング海膜トランジスタ142については説明を省略する。

次いで、第3図 (c) に示すように、アルミニウム、タンタル、モリブデン、チタン、タングステンなどの金属膜からなる導電膜をスパッタ 法により形成した後、パターニングし、ゲート電極143Aを形成する。この状態で、高濃度のリンイオンを打ち込んで、シリコン薄膜210に、ゲート電極143Aに対して自己整合的にソース・ドレイン領域143a、143bを形成する。なお、不純物が導入されなかった部分がチャネル領域143cとなる。

がいで、第3図(d)に示すように、層間絶縁膜230を形成した後、コンタクトホール232、234を形成し、それらコンタクトホール232、234内に中継電極236、238を埋め込む。

次いで、第3図(e)に示すように、層間絶縁膜230上に、信号線132、共通給電線133及び走査線(第3図には図示せず。)を形成する。このとき、信号線132、共通給電線133及び走査線の各配線は、配線として必要な厚さに捕らわれることなく、十分に厚く形成する。具体的には、各配線を1~2μm程度の厚さに形成する。ここで中継電極238と各配線とは、同一工程で形成されていてもよい。この時、中継電極236は、後述する1TO膜により形成されることになる。

そして、各配線の上面をも覆うように層間絶縁膜240を形成し、中 継電極236に対応する位置にコンタクトホール242を形成し、その コンタクトホール242内にも埋め込まれるようにITO膜を形成し、 そのITO膜をパターニングして、信号線132、共通給電線133及 び走査線に囲まれた所定位置に、ソース・ドレイン領域143aに電気 的に接続する画素電極141を形成する。

ここで、第3図(e)では、信号線132及び共通給電線133に挟

15

20

25

まれた部分が、光学材料が選択的に配置される所定位置に相当するものである。そして、その所定位置とその周囲との間には、信号線 132や 共通給電線 133によって段差 111が形成されている。具体的には、 所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差 111が形成 されている。

次いで、第4図(a)に示すように、表示基板121の上面を上に向けた状態で、インクジェットへッド方式により、発光素子140の下層部分に当たる正孔注入層を形成するための液状(溶媒に溶かされた溶液状)の光学材料(前駆体)114Aを吐出し、これを段差111で囲まれた領域内(所定位置)に選択的に途布する。なお、インクジェット方式の具体的な内容は、本発明の要旨ではないため、省略する(かかる方式については、例えば、特別昭56-13184号公報や特開平2-167751号公報を参照)。

正孔注入層を形成するための材料としては、ポリマー前駆体がポリテトラヒドロチオフェニルフェニレンであるポリフェニレンビニレン、1.1-ビス-(4-N, N-ジトリルアミノフェニル)シクロヘキサン、--トリス-(8-ヒ-ドロキシキノリノニル)-アルミニウム等が挙げられる。

このとき、液状の前駆体114Aは、流動性が高いため、水平方向に 広がろうとするが、塗布された位置を取り囲むように段差111が形成 されているため、その液状の前駆体114Aの1回当たりの塗布量を極 端に大量にしなければ、液状の前駆体114Aが段差111を越えて所 定位置の外側に広がることは防止される。

次いで、第4図(b)に示すように、加熱或いは光照射により液状の 前駆体114Aの溶媒を蒸発させて、画素電極141上に、固形の薄い 正孔注入層140aを形成する。ここでは、液状の前駆体114Aの濃 度にもよるが、薄い正孔注入層140aしか形成されない。そこで、よ

-

り厚い正孔注入層 1 4 0 a を必要とする場合には、第 4 図(a)及び (b) の工程を必要回数繰り返し実行し、第 4 図(c)に示すように、 十分な厚さの正孔注入層 1 4 0 A を形成する。

次いで、第5図(a)に示すように、表示基板 121の上面を上に向けた状態で、インクジェットヘッド方式により、発光素子 140の上層部分に当たる有機半導体膜を形成するための液状(溶媒に溶かされた溶液状)の光学材料(有機蛍光材料)114Bを吐出し、これを段差111で囲まれた領域内(所定位置)に選択的に塗布する。

有機蛍光材料としては、シアノポリフェニレンビニレン、ポリフェニ レンビニレン、ポリアルキルフェニレン、2.3.6.7ーテトラヒド ロー11ーオキソー1H.5H.11H(1)ベンゾピラノ[6.7.8-ij]ーキノリジン-10ーカルポン酸、1.1ービス-(4-N.Nージトリルアミノフェニル)シクロペキサン、2-13.4'ージ ヒドロキシフェニル)ー3.5.7ートリヒドロキシー1ーベンゾピリ リウムパークロレート、トリス(8-ヒドロキシキノリノール)アルミ

ーウム、2, 3, 6, 7ーテトラヒドロー 9ーメテルー 1 1 ーオキソー
ーサム、5 H. → 1 H (1) ベンゾピラノ [6, 7, 8 - i j] ーキノリジン、アロマティックジアミン誘導体(TDP)、オキシジアソールダイマー(OXD)、オキシジアソール誘導体(PBD)、ジスチルアリ

20 ーレン誘導体(DSA)、キノリノール系金属錯体、ベリリウムーベン ゾキソリノール錯体(Bebq)、トリフェニルアミン誘導体(MTD ATA)、ジスチリル誘導体、ピラブリンダイマー、ルブレン、キナク リドン、トリアゾール誘導体、ポリフェニレン、ポリアルキルフルオレン、ポリアルキルチオフェン、アゾメチン亜鉛錯体、ポリフィリン亜鉛

25 諸体、ベンゾオキサゾール亜鉛錯体、フェナントロリンユウロビウム錯体等が挙げられる。

Best Available Copy

PCT/JP97/03297

10

15

20

25

このとき、液状の有機蛍光材料 1 1 4 Bは、流動性が高いため、やはり水平方向に広がろうとするが、塗布された位置を取り囲むように段差 1 1 1 が形成されているため、その液状の有機蛍光材料 1 1 4 Bの 1 回当たりの塗布量を極端に大量にしなければ、液状の有機蛍光材料 1 1 4 Bが段差 1 1 で越えて所定位置の外側に広がることは防止される。

次いで、第5図(b)に示すように、加熱或いは光照射により液状の有機蛍光材料114Bの溶媒を蒸発させて、正孔注入層140A上に、固形の薄い有機半導体膜140bを形成する。ここでは、液状の有機蛍光材料114Bの濃度にもよるが、薄い有機半導体膜140bを必要とする場合には、第5図(a)及び(b)の工程を必要回数繰り返し実行し、第5図(c)に示すように、十分な厚さの有機半導体膜140Bを形成する。正孔注入層140A及び有機半導体膜140Bによって、発光素子140が構成される。最後に、第5図(d)に示すように、表示基板121の表面全体に若しくはストライプ状に反射電極154を形成する。

このように、本実施の形態にあっては、発光素子140が配置される 処置位置を四方から取り囲むように信号線132、共通配線133等の 配線を形成するとともに、それら配線を通常よりも厚く形成して段差1 11を形成し、そして、液状の前駆体114Aや液状の有機蛍光材料1 14Bを選択的に塗布するようにしているため、発光素子140のパタ ーニング情度が高いという利点がある。

そして、段差 1 1 1 を形成すると、反射電極 1 5 4 は比較的凹凸の大きな面に形成されることになるが、その反射電極 1 5 4 の厚さをある程度厚くしておけば、断線等の不具合が発生する可能性は極めて小さくなる。

しかも、信号線132や共通配線133等の配線を利用して段差11

3 1

WO 98/12689

5

PCT/JP97/03297

Ⅰを形成するため、特に新たな工程が増加する訳ではないから、製造工程の大幅な複雑化等を招くこともない。

なお、液状の前駆体114Aや液状の有機蛍光材料114Bが、段差 111の内側から外側に流れ出すことをより施実に防止するためには、 液状の前駆体114Aや液状の有機蛍光材料114Bの塗布厚さd。と、 段差111の高さd。との間に、

d. < d. (1)

という関係が成立するようにしておくことが望ましい。

ただし、液状の有機蛍光材料114Bを塗布する際には、既に正孔注 0 入層140Aが形成されているため、段差111の高さd、は、当初の 高さからその正孔注入層140Aの分を差し引いて考えることが必要で ある。

また、上記(1) 式を満足するとともに、さらに、有機半導体膜 140 Bに印加される駆動電圧 V。と、液状の有機蛍光材料 114 Bの各強布厚さの和d。と、液状の有機蛍光材料 114 Bの濃度 r と、有機半導体膜 140 Bに光学特性変化が現れる最少の電界強度(しきい電界強度) E、との間に、

 $V_* / (d_* \cdot r) > E_* \cdots (2)$

という関係が成立するようにすれば、途布厚さと駆動電圧との関係が明 20 確化され、有機半導体膜 | 40Bの電気光学効果が発現することが補償 される。

一方、段差 1 1 1 と発光素子 1 4 0 との平坦性が確保でき、有機半導体膜 1 4 0 B の光学特性変化の一様性と、短絡の防止を可能とするためには、発光素子 1 4 0 の完成時の厚さ d, と、段差 1 1 1 の高さ d, との間に、

d = d (3)

3 2

という関係を成立させればよい。

さらに、上記(3)式を満足するとともに、下記の(4)式を満足すれば、発光素子140の完成時の厚さと駆動電圧との関係が明確化され、 有機蛍光材料の電気光学効果が発現することが補償される。

V. /d. > E. (4)

ただし、この場合のd,は、発光素子140全体ではなく、有機半導体腫140Rの完成時の厚さである。

なお、発光素子140の上層部を形成する光学材料は、有機蛍光材料 114日に限定されるものではなく、無機の蛍光材料であってもよい。

10 また、スイッチング楽子としての各トランジスタ142、143は、 600℃以下の低温プロセスで形成された多結晶シリコンにより形成す ることが望ましく、これにより、ガラス基板の使用による低コスト化と、 高移動度による高性能化が両立できる。なお、スイッチング楽子は、非 晶質シリコンまたは600℃以上の高温プロセスで形成された多結晶シ

15 リコンにより形成されてもよい。

そして、スイッチング薄膜トランジスタ142およびカレント薄膜トランジスタ143の他にトランジスタを設ける形式であってもよいし、 或いは、一つのトランジスタで駆動する形式であってもよい。

また、段差111は、パッシブマトリクス型表示素子の第1のパス配 20 線、アクテイプマトリクス型表示素子の走査線131および、遮光層に よって形成してもよい。

なお、発光素子140としては、発光効率(正孔注入率)がやや低下するものの、正孔注入層140Aを省略してもよい。また、正孔注入層140Aに代えて電子注入層を有機半導体膜140Bと反射電極154との間に形成してもよいし、或いは、正孔注入層及び電子注入層の双方を形成してもよい。

また、上記実施の形態では、特にカラー表示を念頭において、各発光 素子 1 4 0 全体を選択的に配置した場合について説明したが、例えば単 色表示の表示装置 1 の場合には、第 6 図に示すように、有機半導体膜 1 4 0 B は、表示基板 1 2 1 全面に一様に形成してもよい。ただし、この 場合でも、クロストークを防止するために正孔注入層 1 4 0 A は各所定 位置毎に選択的に配置しなければならないため、段差 1 1 1 を利用した 途布が極めて有効である。

(2) 第2の実施の形態

第7図は本発明の第2の実施の形態を示す図であって、この実施の形態は、本発明に係るマトリクス型表示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたパッシブマトリクス型の表示装置に適用したものである。なお、第7図(a)は、複数の第1のバス配線300と、これに直交する方向に配設された複数の第2のバス配線310と、の配置関係を示す平面図であり、第7図(b)は、同(a)のB-B線断面図である。なお、上記第1の実施の形態と同様の構成には、同じ符号を付し、その重複する説明は省略する。また、細かな製造工程等も上記第1の実施の形態と同様であるため、その図示及び説明は省略する。

即ち、本実施の形態にあっては、発光素子 1 4 0 が配置される所定位置を取り囲むように、例えば SiO。等の絶縁膜 3 2 0 が配設されていて、これにより、所定位置とその周囲との間に、段差 1 1 1 が形成されている。

このような構成であっても、上記第1の実施の形態と同様に、液状の 前駆体114Aや液状の有機蛍光材料114Bを選択的に塗布する際に、 それらが周囲に流れ出ることが防止でき、高精度のパターニングが行え る等の利点がある。

(3) 第3の実施の形態

20

第8回は本発明の第3の実施の形態を示す図であって、この実施の形態も、上記第1の実施の形態と同様に、本発明に係るマトリクス型表示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリクス型の表示装置に適用したものである。より具体的には、画素電極 [4]を利用して段差 [1]を形成することにより、高精度のパターニングが行えるようにしたものである。なお、上記実施の形態と同様の構成には、同じ行号を付しておく。また、第8回は製造工程の途中を示す断面図であり、その前後は上記第1の実施の形態と略同様であるためその図示及び説明は省略する。

10 即ち、本実施の形態では、画素電極141を通常よりも厚く形成し、 これにより、その周囲と間に段差111を形成している。つまり、本実 施の形態では、後に光学材料が塗布される画素電極141の方がその周 囲よりも高くなっている凸型の段差が形成されている。

そして、上記第1の実施の形態と同様に、インクジェットヘッド方式により、発光素子140の下層部分に当たる正孔注入層を形成するための液状(溶媒に溶かされた溶液状)の光学材料(前駆体)114Aを吐出し、画素電極1-4-1-上面に塗布する。

ただし、上記第1の実施の形態の場合とは異なり、表示基板121を上下逆にした状態、つまり液状の前駆体114Aが途布される画素電極141上面を下方に向けた状態で、液状の前駆体114Aの途布を行う。すると、液状の前駆体114Aは、重力と表面張力とによって、画素電極141上面に溜まり、その周囲には広がらない。よって、加熱や光照射等を行って固形化すれば、第4図(b)と同様の薄い正孔注入層を形成でき、これを繰り返せば正孔注入層が形成される。同様の手法で、有機半導体膜も形成される。

このように、本実施の形態では、凸型の段差 1 1 1 を利用して液状の

25

光学材料を途布して発光素子のパターニング精度を向上することができる。

なお、遠心力等の慣性力を利用して、画素電極 1 4 1 上面に溜まる液状の光学材料の量を調整するようにしてもよい。

5 (4)第4の実施の形態

第9図は本発明の第4の実施の形態を示す図であって、この実施の形態も、上記第1の実施の形態と同様に、本発明に係るマトリクス型表示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリクス型の表示装置に適用したものである。なお、上記実施の形態と同様の構成には、同じ符号を付しておく。また、第9図は製造工程の途中を示す断面図であり、その前後は上記第1の実施の形態と略同様であるためその図示及び説明は省略する。

即ち、本実施の形態では、先ず、表示基板121上に、反射電極154を形成し、次いで、反射電極154上に、後に発光素子140が配置される所定位置を取り囲むように絶縁膜320を形成し、これにより所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差111を形成する。

そして、上記第1の実施の形態と同様に、段差111で囲まれた領域 内に、インクジェット方式により液状の光学材料を選択的に塗布することにより、発光素子140を形成する。

一方、剝離用基板122上に、剝離層152を介して、走査練131、 信号線132、画素電極141、スイッチング薄膜トランジスタ142、 カレント薄膜トランジスタ143および絶縁膜240を形成する。

最後に、表示基板 1 2 1 上に、剝離用基板 1 2 2 上の剝離層 1 2 2 から剝離された構造を転写する。

このように、本実施の形態であっても、段差111を利用して液状の

光学材料を塗布するようにしたから、高精度のパターニングが行える。 さらに、本実施の形態では、発光素子140等の下地材料への、その 後の工程によるダメージ、あるいは、走査線131、信号線132、画 素電低141、スイッチング薄膜トランジスタ142、カレント薄膜ト ランジスタ143または絶縁膜240への、光学材料の塗布等によるダ メージを、軽減することが可能となる。

本実施の形態では、アクティブマトリクス型表示素子として説明したが、パッシブマトリクス型表示素子であってもよい。

(5)第5の実施の形態

10 第10回は本発明の第6の実施の形態を示す図であって、この実施の形態も、上記第1の実施の形態と同様に、本発明に係るマトリクス型表示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリクス型の表示装置に適用したものである。なお、上記実施の形態と同様の構成には、同じ行号を付しておく。また、第10回は製造工程の途中を示す断面図であり、その前後は上記第1の実施の形態と略同様であるためその図示及び説明は省略する。

即ち、本実施の形態では、層間絶緑膜240を利用して凹型の段差1 11を形成していて、これにより、上記第1の実施の形態と同様の作用 効果を得るようにしている。

20 また、層間絶縁膜240を利用して段差111を形成するため、特に 新たな工程が増加する訳ではないから、製造工程の大幅な複雑化等を招 くこともない。

(6)第6の実施の形態

第11図は本発明の第6の実施の形態を示す図であって、この実施の 25 形態も、上記第1の実施の形態と同様に、本発明に係るマトリクス型表示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリク

3 7

差替え用紙 (規則26)

Best Available Cupy

Best Available Copy

ス型の表示装置に適用したものである。なお、上記実施の形態と同様の 構成には、同じ符号を付しておく。また、第11図は製造工程の途中を 示す断面図であり、その前後は上記第1の実施の形態と略同様であるた めその図示及び説明は省略する。

5 即ち、本実施の形態では、段差を利用してパターニング精度を向上させるのではなく、液状の光学材料が途布される所定位置の親水性を、その周囲の親水性よりも相対的に強くすることにより、途布された液状の光学材料が周囲に広がらないようにしたものである。

具体的には、第11図に示すように、層間絶縁膜240を形成した後10 に、その上面に非晶質シリコン層155を形成している。非晶質シリコン層155は、画素電極141を形成する1TOよりも相対的に撥水性が強いので、ここに、画素電極141表面の親水性がその周囲の親水性よりも相対的に強い撥水性・親水性の分布が形成される。

そして、上記第1の実施の形態と同様に、画素電極141の上面に向 15 けて、インクジェット方式により液状の光学材料を選択的に途布することにより、発光素子140を形成し、最後に反射電極を形成する。

このように、本実施の形態であっても、所望の撥水性・親液性の分布 を形成してから液状の光学材料を途布するようにしているから、パター ニングの精度を向上させることができる。

20 なお、本実施の形態の場合も、パッシブマトリクス型表示素子に適用できることは勿論である。

また、剝離用差板 1 2 1 上に剝離簡 1 5 2 を介して形成された構造を、表示基板 1 2 1 に転写する工程を含んでいてもよい。

さらに、本実施の形態では、所望の撥水性・親水性の分布を、非晶質 25 シリコン層 155 によって形成しているが、撥水性・親水性の分布は、 金属や、陽極酸化膜、ポリイミドまたは酸化シリコン等の絶縁膜や、他

の材料により形成されていてもよい。なお、パッシブマトリクス型表示 素子であれば第1のパス配線、アクテイブマトリクス型表示素子であれ ば走査線131、信号線132、画素電極141、絶縁膜240或いは 連光層によって形成してもよい。

また、本実施の形態では、液状の光学材料が水溶液であることを前提 に説明したが、他の液体の溶液を用いた液状の光学材料であってもよく、 その場合は、その溶液に対して撥液性・親液性が得られるようにすれば よい。

(7) 第7の実施の形態

10 本発明の第7の実施の形態は、断面構造は上記第5の実施の形態で使用した第10回と同様であるため、これを用いて説明する。

即ち、本実施の形態では、層間絶縁膜240をSiO:で形成するとともに、その表面に紫外線を照射し、その後に、画素電極141表面を露出させ、そして液状の光学材料を選択的に塗布するようになっている。

15 このような製造工程であれば、段差111が形成されるだけでなく、 層間絶縁膜240表面に沿って撥液性の強い分布が形成されるため、途 市された液状の光学材料は、段差1-1.1と層間絶縁膜240の撥液性と の両方の作用によって所定位置に溜まり易くなっている。つまり、上記 第5の実施の形態と、上記第6の実施の形態との両方の作用が発揮され るから、さらに発光素子140のパターニング精度を向上させることが できる。

なお、紫外線を照射するタイミングは、画素電極141の表面を露出させる前後いずれでもよく、層間絶線膜240を形成する材料や、画素電極141を形成する材料等に応じて適宜選定すればよく。ちなみに、

55 画素電価 1 4 1 の表面を露出させる前に紫外線を照射する場合には、段差 1 1 1 の内壁面は撥液性が強くならないから、段差 1 1 1 で囲まれた

3 9

5.

10

25

領域に波状の光学材料を溜めることにとって有利である。これとは逆に、 画素電極 1 4 1 の表面を露出させた後に紫外線を照射する場合には、段 差 1 1 1 の内壁面の撥液性が強くならないように垂直に紫外線を照射する必要があるが、画素電極 1 4 1 の表面を露出する際のエッチング工程 の後で紫外線を照射するため、そのエッチング工程によって撥液性が弱 まるような懸念がないという利点がある。

また、層間絶縁膜240を形成する材料としては、例えばフォトレジストを用いることもできるし、或いはポリイミドを用いてもよく、これらであればスピンコートにより膜を形成できるという利点がある。

そして、層間絶線膜240を形成する材料によっては、紫外線を照射 するのではなく、例えばO:、CF:、Ar等のプラズマを照射するこ とにより撥液性が強くなるようにしてもよい。

(8) 第8の実施の形態

第12図は本発明の第8の実施の形態を示す図であって、この実施の 形態も、上記第1の実施の形態と同様に、本発明に係るマトリクス型表 示素子及びその製造方法を、EL表示素子を用いたアクティブマトリク ス型の表示装置に適用したものである。なお、上記実施の形態と同様の 構成には、同じ行号を付しておく。また、第12図は製造工程の途中を 示す断面図であり、その前後は上記第1の実施の形態と略同様であるた 20 めその図示及び説明は省略する。

即ち、本実施の形態では、段差や撥液性・親液性の分布等を利用して パターニング精度を向上させるのではなく、電位による引力や斥力を利 用してパターニング精度の向上を図っている。

つまり、第12図に示すように、信号線132や共通給電線133を 駆動するとともに、図示しないトランジスタを適宜オン・オフすること により、画茶電極141がマイナス電位となり、層間絶縁膜240がプ

15

ラス電位となる電位分布を形成する。そして、インクジェット方式により、プラスに帯電した液状の光学材料 1 1 4 を所定位置に選択的に途布する。

このように、本実施の形態であれば、表示基板 1 2 1 上に所望の電位 分布を形成し、その電位分布と、プラスに帯電した液状の光学材料 1 1 4 との間の引力及び斥力を利用して、液状の光学材料を選択的に塗布し ているから、パターニングの精度を向上させることができる。

特に、本実施の形態では、液状の光学材料 1 1 4 を帯電させているので、自発分極だけでなく帯電電荷も利用することにより、パターニングの特度を向上する効果が、さらに高まる。

本実施の形態では、アクティブマトリクス型表示素子に適用した場合 を示しているが、パッシブマトリクス型表示素子であっても適用可能で ある。

なお、剝離用基板121上に剝離層152を介して形成された構造を、 表示基板121に転写する工程を含んでいてもよい。

また、本実施の形態では、所望の電位分布は、走査線131に順次電 - 位を印加し、同時に信号線1322および共通線133に電位を印加し、 画素電極141にスイッチング薄膜トランジスタ142およびカレント 薄膜トランジスタ143を介して電位を印加することにより形成される。

20 電位分布を走査線 1 3 1、信号線 1 3 2、共通線 1 3 3 および画素電極 1 4 1 で形成することにより、工程の増加が抑制できる。なお、パッシブマトリクス型表示素子であれば、電位分布は、第1のバス配線および 遮光層によって形成することができる。

さらに、本実施の形態では、画素電極 141と、その周囲の層間絶縁 25 膜 2 4 0 との両方に電位を与えているか、これに限定されるものではな く、例えば第13図に示すように、画素電極 141には電位を与えず、

. 4 1

層間絶縁膜240にのみプラス電位を与え、そして、液状の光学材料114をプラスに帯電させてから途布するようにしてもよい。このようにすれば、途布された後にも、液状の光学材料114は確実にプラスに帯電した状態を維持できるから、周囲の層間絶縁膜240との間の斥力によって、液状の光学材料114が周囲に流れ出ることをより確実に防止することができるようになる。

なお、上記各実施の形態で説明したものとは異なり、例えば、段差1 11を、液状の材料を途布することにより形成してもよいし、或いは、 段差111を、刺離用基板上に刺離層を介して材料を形成し、表示基板 上に刺離用基板上の刺離層から刺離された構造を転写することにより形 成してもよい。

また、上記各実施の形態では、光学材料として有機又は無機のELが 適用可能であるとして説明したが、これに限定されるものではなく、光 学材料は液晶であってもよい。

15

20

産業上の利用可能性

以上説明したように、本発明によれば、段差や、所望の惶液性・親液 性の分布や、所望の電位分布等を利用して液状の光学材料を途布するよ うにしたから、光学材料のパターニング精度を向上することができると いう効果がある。

Best Available Copy

請求の範囲

1. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液伏である マトリクス型表示素子において

前記所定位置とその周囲との境界部分に、前記光学材料を選択的に塗 布するための段差を有することを特徴とするマトリクス型表示素子。

2. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状である

10 マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前配表示基板上の前記 所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、

前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

- 15 を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 3. 前配段差は、前配所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり、前記表示基板の前記液状の光学材料が塗布される面を上に向けて、前紀所定位置に前記液状の光学材料を塗布する請求の範囲第2項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 20 4. 前記段差は、前記所定位置の方がその周囲よりも高くなっている凸型の段差であり、前記表示基板の前記液状の光学材料が途布される面を下に向けて、前記所定位置に前記液状の光学材料を途布する請求の範囲第2項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 5. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前配光学材料は少なくとも前記形字体展に含むされる。
 - 5 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液伏であるマトリクス型表示素子の製造方法において、

4 2

差替え用紙 (規則26)

Best Available Cupy

PCT/JP97/03297

前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と、

前記液状の光学材料を途布するための段差を、表示基板上の前記所定 位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、

前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布するエ 程と、

前記第1のバス配線と交差する複数の第2のバス配線を、前配光学材 料を覆うように形成する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

6. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、

前記光学材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と、

前記波状の光学材料を塗布するための段差を、前記表示基板上の前記 所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、

前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工 程と、

一剝離用基板上に、剝離層を介して複数の第2のバス配線を形成する工 程と、

前記光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝 20 離曆から剝離された構造を、前記第1のバス配線と前記第2のバス配線 とが交差するように転写する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

- 7. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、
- 前記表示基板上に、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定

WO 98/12689

10

PCT/JP97/03297

位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、

前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記表示基板上の前記 所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、

5 前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

8、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記表示基板上の前記 所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程と、

前記段差を利用して前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

- 15 刺離用基板上に、刺離層を介して、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、
- 前記光学材料が途布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝 20 離層から剝離された構造を転写する工程と
 - を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 9. 前記段差は、前記第1のバス配線を利用して形成され、前記所定位 置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり。
- 前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の 25 光学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定位置に前記液状の光学 材料を塗布するようになっている請求の範囲第5又は6項記載のマトリ

クス型表示素子の製造方法。

10. 前記段差は、前記配線を利用して形成され、前記所定位置の方が その周囲よりも低くなっている凹型の段差であり。

前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の 光学材料が塗布される面を上に向けて、前配所定位置に前記液状の光学 材料を塗布するようになっている請求の範囲第7項記載のマトリクス型 表示素子の製造方法。

- 11. 前記段差は、前記画素電極を利用して形成され、前記所定位置の 方がその周囲よりも高くなっている凸型の段差であり、
- 前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の 光学材料が塗布される面を下に向けて、前記所定位置に前記液状の光学 材料を塗布するようになっている請求の範囲第7項記載のマトリクス型 表示素子の製造方法。
 - 12. 層間絶縁膜を形成する工程を備え、
- 前記段差は、前記層間絶縁膜を利用して形成され、前記所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり。

前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の 光学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定位置に前記液状の光学 材料を塗布するようになっている請求の範囲第5~8項のいずれかに記 載のマトリクス型表示素子の製造方法。

13. 遮光層を形成する工程を備え、

Best Available Copy

20

前記段差は、前記遮光層を利用して形成され、前記所定位置の方がその周囲よりも低くなっている凹型の段差であり、

前記液状の光学材料を塗布する工程では、前記表示基板の前記液状の 25 光学材料が塗布される面を上に向けて、前記所定位置に前記液状の光学 材料を塗布するようになっている請求の範囲第5~8項のいずれかに記

戟のマトリクス型表示素子の製造方法。

- 1 4. 前記段差を形成する工程は、液状の材料を塗布した後にこれを選択的に除去することにより段差を形成するようになっている請求の範囲第2、3、5~8項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 15. 前記段差を形成する工程は、剝離用基板上に剝離層を介して段差を形成し、その剝離用基板上の剝離層から剝離された構造を表示基板上に転写するようになっている請求の範囲第2、3、5、7項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 16. 前記段差の高さd,は、下記(1)式を満たしている請求の範囲 第2、3、5~10、12~15項のいずれかに記載のマトリクス型表 示素子の製造方法。

d < d.

.... (1)

ただし、

- 15 d.:前記液状の光学材料の一回当たりの塗布厚さである。
 - 1-7. 下記-(-2-) 式を満たしている請求の範囲第1.6 項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

 $V_* / (d_* \cdot r) > E_* \dots (2)$

20 ただし、

V。:前記光学材料に印加される駆動電圧

d。: 前記液状の光学材料の各塗布厚さの和

r : 前記液状の光学材料の濃度

E.: 前記光学材料の光学特性変化が現れる最少の電界強度 (しき)

25 い電界強度)

である。

18. 前記段差の高さd. は、下記(3)式を満たしている請求の範囲 第2、3、5~10、12~15項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

 $\mathbf{d}_{i} = \mathbf{d}_{i}$

..... (3)

5 ただし、

d, : 前記光学材料の完成時の厚さ

である。

19. 前記完成時の厚さd,は、下記(4)式を潰たしている請求の範囲第18項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

10 V. /d. > E.

..... (4)

ただし、

V。: 前記光学材料に印加される駆動電圧

E.:前記光学材料の光学特性変化が現れる最少の電界強度 (しきい電界強度)

15 である。

25

Best Available Copy

20. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相 20 対的に強くする工程と、

前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

- 21 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において
 - 前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と

. 4 8

20

前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、

前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

前記第1のバス配線と交差する複数の第2のバス配線を、前記光学材料を覆うように形成する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

22. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

10 前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と

前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、

前記所定位置に前記波状の光学材料を塗布する工程と、

剝離用基板上に、剝離層を介して複数の第2のバス配線を形成する工程と、

前配光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝 離層がら剝離された構造を、前記第十のバス配線と前記第2のバス配線 とが交差するように転写する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

23. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前配光学材料は少なくとも前配所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記表示基板上に、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定 位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状 態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と

前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相

()

5

WO 98/12689

PCT/JP97/03297

対的に強くする工程と、

前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

24. 表示基板上の所定位置に遊択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に途布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において

前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする工程と、

前記所定位置に前記液状の光学材料を塗布する工程と

10 剝離用基板上に、剝離層を介して、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画業電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するだめのスイッチング素子と、を形成する工程と、

前記光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝離層から剝離された構造を転写する工程と、 を備えたことを特徴とするマトリクス型表示表子の製造方法。

25. 前記表示基板上の前記第1のバス配線に沿って撥液性の強い分布 を形成することにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその 周囲の親液性よりも相対的に強くする請求の範囲第21又は22項記載

20 のマトリクス型表示素子の製造方法。

26. 前記表示基板上の前記配線に沿って撥液性の強い分布を形成する ことにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液 性よりも相対的に強くする請求の範囲第23項記載のマトリクス型表示 素子の製造方法。

25 27. 前記表示基板上の前記画素電極表面の親液性を強くすることにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも

5 0

15

20

相対的に強くする請求の範囲第23項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

28. 層間絶縁膜を形成する工程を備え、

前記表示基板上の前記層間絶縁膜に沿って撥液性の強い分布を形成することにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする請求の範囲第21~24項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

29. 前記画素電極の表面は露出するように磨閉絶縁膜を形成する工程 を備え、

前記層間絶縁膜を形成する際には、前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記画素電極の表面が露出する部分とその周囲との境界部分に形成し、

前記層間絶縁膜の裏面の撥液性を強くすることにより、前記表示基板 上の前記所定位置の観液性をその周囲の観液性よりも相対的に強くする

請求の範囲第23項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

30. 遮光層を形成する工程を備え、

前記表示基板上の前記遮光層に沿って撥液性の強い分布を形成することにより、前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性よりも相対的に強くする請求の範囲第21~24項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

31. 紫外線を照射する若しくは O_2 . CF_1 . A_1 等のプラズマを照射することにより、前記所定位置とその周囲との親液性の差を大きくする請求の範囲第20-30項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

25 32. 前記表示基板上の前記所定位置の親液性をその周囲の親液性より も相対的に強くする工程を備えた請求の範囲第2~19項のいずれかに

Best Available Ccpy

記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

33. 前記液状の光学材料を塗布するための段差を、前記表示基板上の 前記所定位置とその周囲との境界部分に形成する工程を備えた請求の範 囲第20~28、31項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製 造方法。

34. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前配光学材料は少なくとも前配所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、

前記電位分布を利用して前記液状の光学材料を前記所定位置に選択的 に塗布する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

35. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において

前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、

前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する 20 電位に帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

36、表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、

25 前記表示基板上に、複数の第1のパス配線を形成する工程と、 前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるよ

5 2

Best Available Copy

うに電位分布を形成する工程と、

前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する 電位に帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と

前記第1のパス配線と交差する複数の第2のパス配線を、前配光学材料を覆うように形成する工程と

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

- 37. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液状である マトリクス型表示素子の製造方法において、
- 10 前記表示基板上に、複数の第1のバス配線を形成する工程と、

前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、

前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する 電位に帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と、

- 15 剝離用基板上に、剝離層を介して複数の第2のバス配線を形成する工程と、
 - 前記光学材料が塗布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝 離層から剝離された構造を、前記第1のバス配線と前記第2のバス配線 とが交差するように転写する工程と、
- 20 を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 38. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液伏である マトリクス型表示素子の製造方法において、
- 前記表示基板上に、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定 25 位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、

0

0

WO 98/12689

PCT/JP97/03297

前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるように電位分布を形成する工程と、

前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する 電位に帯電させてから、前記所定位置に塗布する工程と、

- 5 を備えたことを特徴とするマトリクス型表示紊子の製造方法。
 - 3 9. 表示基板上の所定位置に選択的に光学材料を配置した構成を有し、 前記光学材料は少なくとも前記所定位置に塗布される際には液伏である マトリクス型表示素子の製造方法において、
- 前記表示基板上に、前記所定位置とその周囲とが異なる電位となるよ 10 うに電位分布を形成する工程と、
 - 前記液状の光学材料を、前記所定位置の周囲との間で斥力が発生する 電位に帯電させてから、前記所定位置に徐布する工程と

剝離用基板上に、刺離層を介して、複数の走査線及び信号線を含む配線と、前記所定位置に対応した画素電極と、前記配線の状態に応じて前

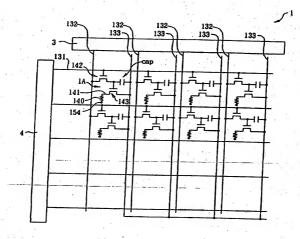
- 15 記画素電極の状態を制御するためのスイッチング素子と、を形成する工程と、
 - 前記光学材料が途布された表示基板上に、前記剝離用基板上の前記剝 離層から剝離された構造を転写する工程と、

を備えたことを特徴とするマトリクス型表示素子の製造方法。

- 20 40. 前記電位分布は、少なくとも前記表示基板上の前記所定位置の周囲が帯電するように形成する請求の範囲第35~39項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 4.1 前記電位分布は、前記第1のバス配線に電圧を印加することにより形成する請求の範囲第36又は37項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 4 2.前記電位分布は、前記配線に電圧を印加することにより形成する

請求の範囲第38項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

- 43 前記電位分布は、前記画素電極に電圧を印加することにより形成 する請求の範囲第38項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 4 4. 前記電位分布は、前記走査線に順次電圧を印加し、同時に前記信 号線に電位を印加し、前記画素電極に前記スイッチング素子を介して電
- 5 号線に電位を印加し、前記画茶電極に前記スイッチング素子を介して電圧を印加することにより形成する請求の範囲第38項記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 45. 遮光層を形成する工程を備え、
- 前記電位分市は、前記遮光層に電圧を印加することにより形成される 10 請求の範囲第35~39項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の 製造方法。
 - 46. 前記電位分布は、前記所定位置とその周囲とが逆極性となるよう に形成する請求の範囲第34~45項のいずれかに記載のマトリクス型 表示素子の製造方法。
- 15 47、前記光学材料は、無機又は有機の蛍光材料である請求の範囲第2 ~46項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
 - 48. 前記光学材料は、液晶である請求の範囲第2、3、5~10、1 2~31、33~46項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。
- 20 4 9. 前記スイッチング素子は、非晶質シリコン、600℃以上の高温プロセスで形成された多結晶シリコン又は600℃以下の低温プロセスで形成された多結晶シリコンにより形成する請求の範囲第7、8、10、11、13、23、24、26、27、38、39、42~44項のいずれかに記載のマトリクス型表示素子の製造方法。

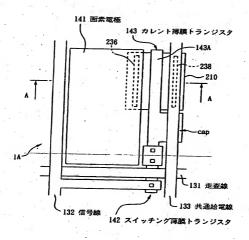


1/13

差替え用紙 (規則26)

Best Available Copy

第2図



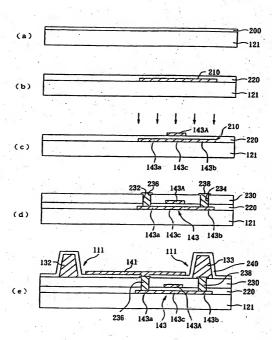
2/13

WO 98/12689

PCT/JP97/03297

第3図

Best Available Ccpy



3/13

差替え用紙 (規則26)

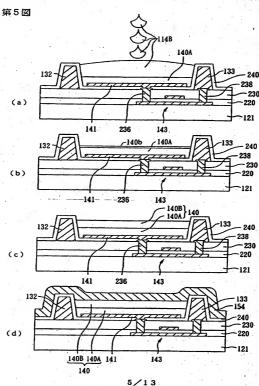
132 140a 133 240 238 230 220 141 236 143

132 140A 1111 133 240 238 238 220 220 121

4/13

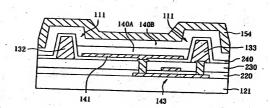
差替え用紙 (規則26)

Best Available Ccpy



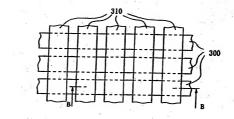
差替え用紙 (規則26)

第6図



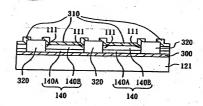
6/1

第7図



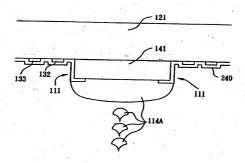
(P)

Best Available Copy



7/13

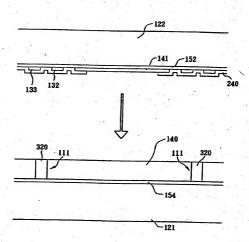
第8図



8/13

差替え用紙 (規則26)

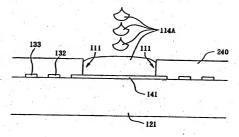
Best Available Copy



9/13

第10図

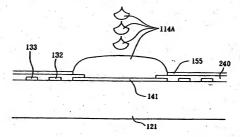
Best Available Ctpy



10/13

第11図

Best Available Copy

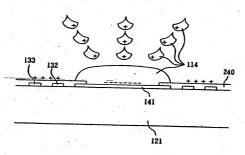


11/13

美棘 > 用紙 (担則26)

第12図

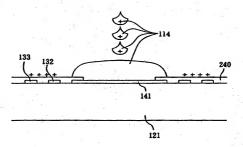
Best Available.CCpy



12/13

第13図

Best Available CC,



13/19

INTERNATIONAL	

ernational application No.

	/03297

	ASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		1
Int	- C16 G09F9/30, G09F9/00		
According	to International Patent Classification (IPC) or to be	oth national classification and IPC	-
	LDS SEARCHED		
Misimum	ocumentation searched (classification system follower	by classification symbols)	
	. C16 G09F9/30, G09F9/00		
Documents Jit Kok Tor	tion searched other than minimum documentation to the suyo Shinan Koho ai Jitsuyo Shinan Koho oku Jitsuyo Shinan Koho	to extent that such documents are included in to 1926 - 1997 1971 - 1997 1991 - 1997	he fields searched
Electronic	ata base consulted during the international search (nam		terms used)
		*	
C. DOC	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category	Citation of document, with indication, where	appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 6-308312, A (Canon Inc. November 4, 1994 (04. 11.	94) (Family: none)	1 - 3
A	JP, 1-140188, A (Komatsu Ltd.), June 1, 1989 (01. 06. 89) (Family: none)		1 - 49
A	JP, 5-283166, A (Sharp Cor October 29, 1993 (29. 10.	93) (Family: none)	1 - 49
	- X		
	****	·	
-			
		• •	
-			
Furthe	documents are listed in the continuation of Box C	See patent family ennex.	
	entegories of cited documents:	"I" later document published after the later date and not in conflict with the applic the principle or theory underlying the	national filing date or priority
	of defining the general state of the art which is not considere particular relevance reament but published on or after the international filing dat		
	remained on publication of or star are interesting at the which may throw doubts on priority claim(s) or which is establish the publication date of another citation or otherwise apocified).	s step when the document is taken alone	ared to involve as laventive
"O" documen	t referring to an oral disclosure, use, exhibition or othe	"Y" document of particular relevance; the considered to involve an inventive a combined with one or more other such d	claimed invention cannot be step when the document is
P documen	t published prior to the international filing date but later that ty date claimed		r art
Date of the a	ctual completion of the international search	Date of mailing of the international sean	
	mber 12, 1997 (12. 12. 97)	December 24, 1997	•
Name and m	iling address of the ISA/	Authorized officer	
Japa	nese Patent Office		
Facsimile No		Telephone No.	
PCT/IS	/210 (second sheet) (July 1992)		

	国際資查報告	国際出願番号 PCT/JP	97/03297
A. 発明の Int. Cl*	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) G09F9/30 G09F9/0(•
	行った分野 最小限資料(国際特許分類(IPC))		
Int. Cl	G09F9/80 G09F9/00	*	
日本国実日本国公	外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 用新変公報 1926-1997 間実用新潔公報 1971-1997 録実用新薬公報 1994-1997		
国際調査で使	用した電子データベース(データベースの名称	、調査に使用した用額)	I.
C. 関連す 引用文献の カテゴリー*	ると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連する	・ときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X **	JP, 6-308312, A(キャノン株式会社)4. 11月1994		1-3 4 1-49
.	JP, 1-140188, A(株式会社小松製作所) L. 6月196 JP, 5-283166, A(シャープ株式会社) 29, 10月195		1-49
□ C機の絞:	とにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する	別級を参照。
「A」特に関す もの 「E」先行文が の 「L」優先権 日文献 「C」ロ類に	のカテゴリー 悲のある 実験ではなく、一般的技術水準を示す まではあるが、 国際出願 日以 後に公安されたも 上紙に緊姦を提起する 文献又は他の文献の発行 は他の特別な理由を確立するために引用する 起係の特別な理由を確立するために引用する とる限示、使用、最示等に言及する文献 国官順で、かつ優先権の主張の基礎となる出順	の日の様に公表された文献 「丁 国際団勝日又は倭長日後に公本 て出版と矛盾するものではない 協の関連のある文献であっている。 「X」特に関連のある文献であって、 の新提性又は造学性でないと 「Y」特に関連のある文献であって、 上の文造学性がないと考えた。 「&」 こって造学性がないと考えた。 「&」 二 一 「プリー 工献	(、発明の原理又は理) 当該文献のみで発明 されるもの 当該文献と他の1以 自明である組合せに
国際調査を完了	「した日 12. 12. 97	国際調査報告の発送日 24・1	2.97
国際調査機関の	の名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	. 5H 7706

様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (1992年7月)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
□ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
\square BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ CRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
☐ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.